



---

# CDキャリー コンポーネントシステム

---

## 取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の  
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、  
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。

## XG-K56



# 警告

# 安全のために

この製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。  
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4～7ページ の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



### 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

## 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

# 目次

⚠ 警告・⚠ 注意 .....	4
-----------------	---

---

## ここだけ読んでも使えます

CDを聞く .....	8
ラジオを聞く .....	10
テープを聞く .....	12
録音する .....	14

---

## CDの再生

聞きたい曲を選ぶ （ダイレクト選曲/サーチ）.....	16
繰り返し聞く （リピート演奏）.....	16
聞きたい曲を好きな順に聞く （プログラム演奏）.....	17

---

## ラジオ

放送局を記憶させる .....	19
記憶させた放送局を聞く （プリセット選局）.....	19

---

## 音質

好みの音質で聞く .....	21
----------------	----

---

## マイク

マイクを使う .....	22
--------------	----

---

## タイマー

音楽を聞きながら眠る .....	23
------------------	----

---

## 準備

電源を準備する .....	24
---------------	----

---

## その他

使用上のご注意 .....	26
故障かな?と思ったら .....	27
お手入れ .....	30
保証書とアフターサービス .....	31
主な仕様 .....	32
各部のなまえ .....	33
索引 .....	35



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

### 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。



### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに交換をご依頼ください。



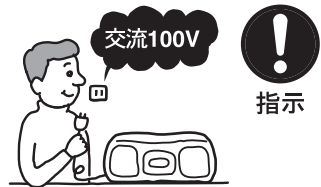
### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



### 海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

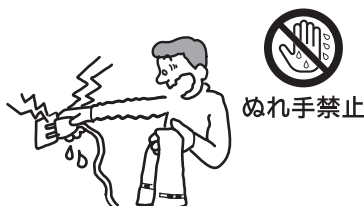


### 雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。



ぬれた手で電源プラグにさわらない  
感電の原因となることがあります。



### 通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



## 注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

### 内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご依頼ください。



移動させるとき、長時間使わないときは、

### 電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。





# 注意

つづき

## お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

## 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



禁止

## 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

## 幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

## 円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

# 電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

## 危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口またはアイワお客様相談センターにご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

## 警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

## 注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

### この取扱説明書について

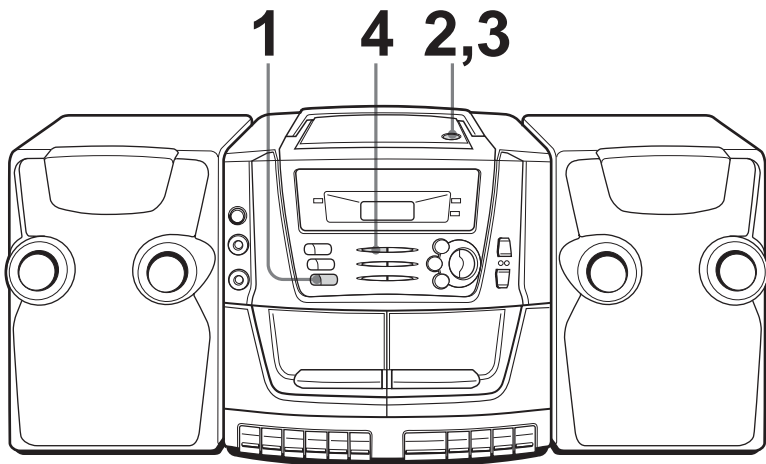
本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」(33、34ページ)も併せてご覧ください。

### 録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- CDステレオラジオカセットレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

# CDを聞く



準備→電源コードを接続してください(24ページ参照)

1

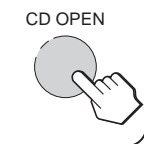


## CDボタンを押す。

リモコンでは電源ボタンを押して電源を入れてから\*、ファンクションボタンを繰り返し押して、音源をCDに切り換えます。

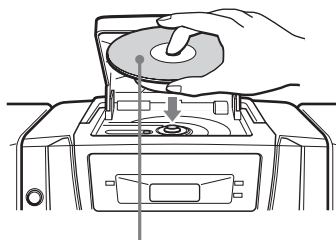
\* 本体を乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。

2



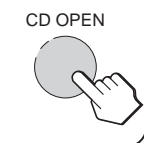
## 「CD OPEN」部分を押して、CDぶたを開け、CDを入れる。

CDシングルもそのまま使えます。

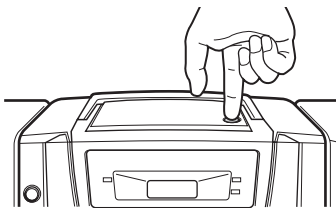


文字のある面を上

3



## CDぶたを閉める。





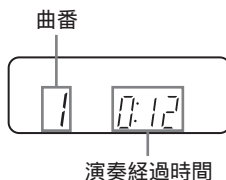
# 4



**▶||ボタン(リモコンでは▶||)を押す。**

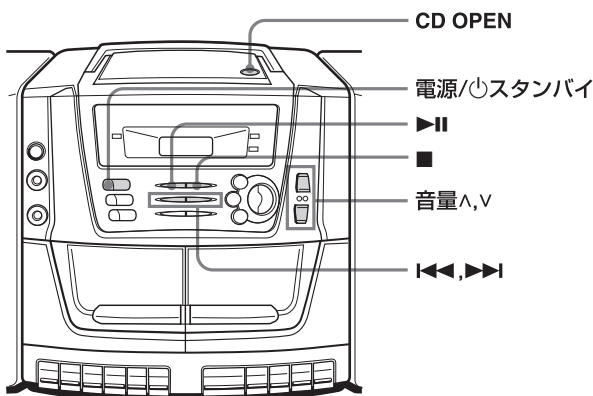
再生が始まります。

本体表示窓



ここだけ読んでも使えます

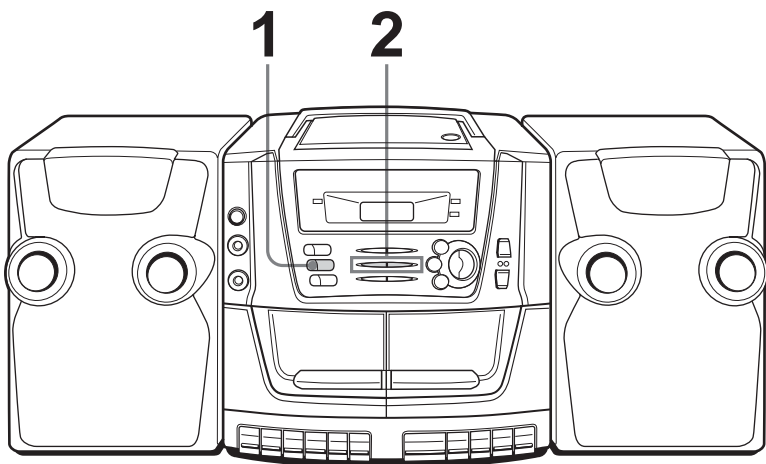
## その他の操作



ちょっと一言  
リモコンの表示切換ボタンを押すと、現在の音量が表示されます。

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量Λ、V
再生を止める	■
再生中に一時停止する	▶   (リモコンでは  ) もう一度押すと演奏が始まる。
曲の頭に戻す	⏮
次の曲へ進む	⏭
CDを取り出す	CD OPEN
電源を入/切する	電源/⏻スタンバイ

# ラジオを聞く



準備→電源コードを接続してください(24ページ参照)

1



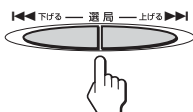
**ラジオ/バンドボタン**  
を押して、FMまたはAMを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。ボタンを押すたびに「FM」と「AM」の間で切り換わります。

本体表示窓



2



**◀◀または▶▶ボタンを押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。**

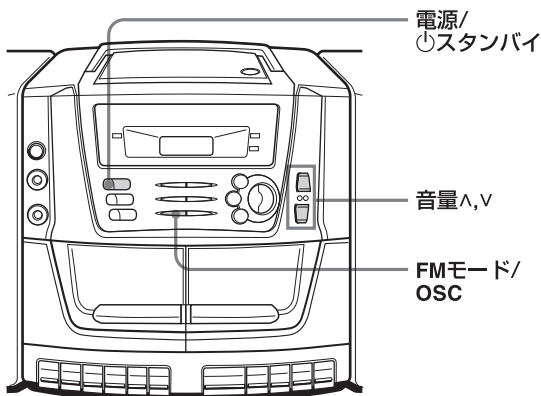
放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

本体表示窓

ステレオ放送  
受信時に点灯



## その他の操作



### ちょっと一言

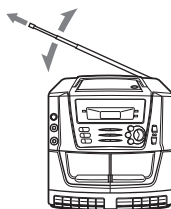
- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AM、テレビ(1~3 ch)のステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、FMモード/OSCボタン(リモコンではモードボタン)を押して、表示窓に「MONO」を出します。音はモノラルになります。
- リモコンの表示切換ボタンを押すと、現在の音量が表示されます。

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量Λ、V
電源を入/切する	電源/スタンバイ

### 受信状態をよくする

FM(テレビ1~3 ch)放送のときは  
ロッドアンテナを伸ばし向きを変える。

AM放送のときは  
本体を最も受信状態の良い方へ向ける。

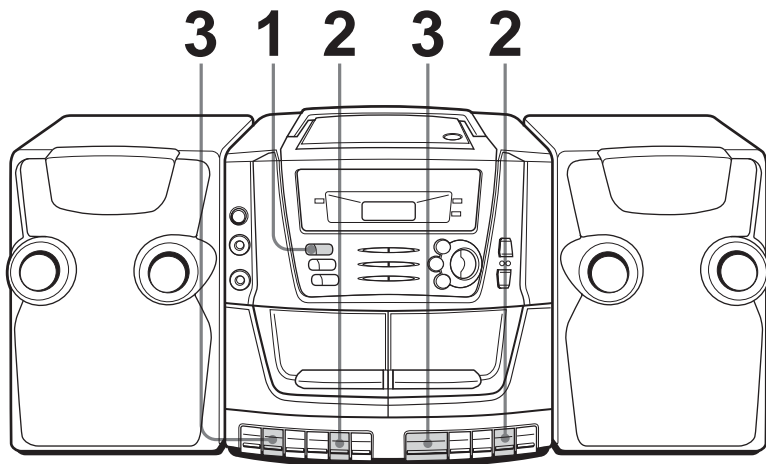


FM



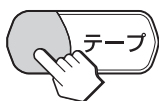
AM

# テープを聞く - TYPE K (ノーマル)テープ専用



準備→電源コードを接続してください(24ページ参照)。

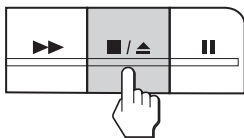
1



電源/  
スタンバイ

**電源/スタンバイ/テープボタンを押して電源オフ状態にする。**

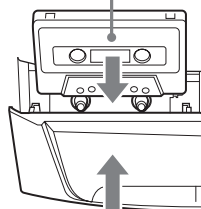
2



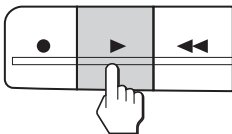
**■/△ボタンを押してカセットぶたを開け、カセットを入れる。**

TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

聞きたい面を手前に



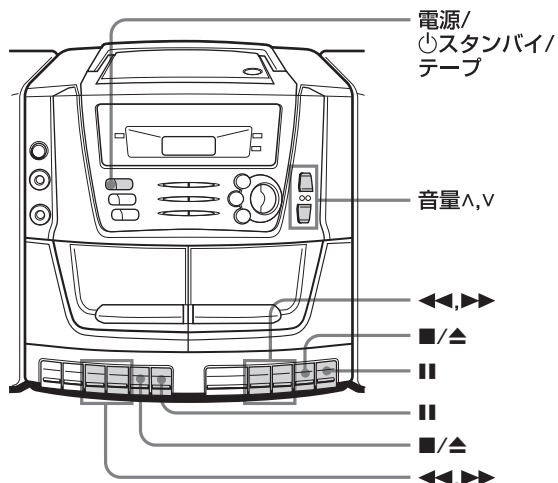
3



**▶ボタンを押す。**

再生が始まります。

## その他の操作



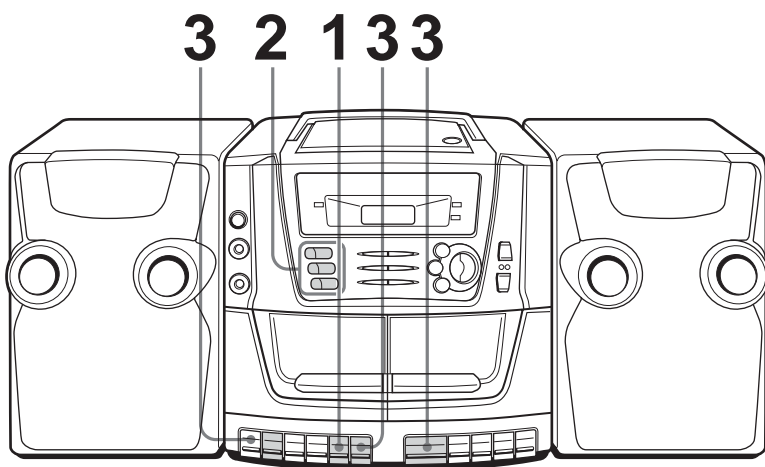
ここだけ読んでも  
使えます

### ちょっと一言

DECK 2のテープに続けて  
DECK 1のテープを再生でき  
ます。DECK 2の演奏中に、  
DECK 1の⏸ボタンを押して  
から▶ボタンを押します。  
DECK 2の演奏が終わると、  
DECK 1の⏸ボタンが戻り、  
DECK 1の演奏が始まりま  
す。

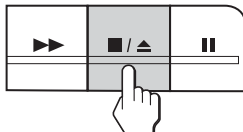
こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量Λ、V
再生を止める	■/▲
早送りや巻戻しをする	⏮または⏭
再生中に一時停止する	⏸ もう一度押すと演奏が始まる。
カセットを取り出す	■/▲
電源を入/切する	電源/⏻スタンバイ/テープ

# 録音する - TYPE I (ノーマル)テープ専用



準備→電源コードを接続してください(24ページ参照)

1

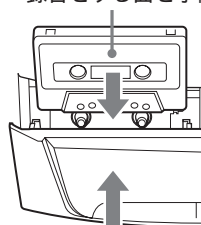


デッキ

**DECK 1の■/▲ボタンを押して、録音用カセットを入れる。**

TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。

録音をする面を手前に



2

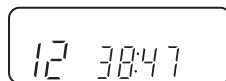
**録音するものを選ぶ。**



CDを録音するとき

CDボタンを押して音源をCDに切り換えて、CDを入れる(8ページ参照)。

本体表示窓

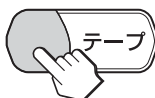


ラジオ バンド

ラジオを録音するとき

ラジオ/バンドボタンを押してFMまたはAMを選び、録音する局を受信する(10ページ参照)。

本体表示窓

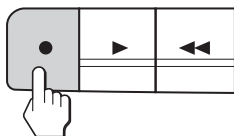
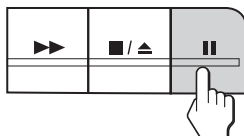


テープ 電源/  
スタンバイ

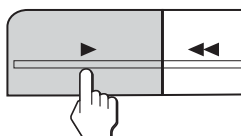
テープからテープへ録音するとき

電源/スタンバイ/テープボタンを押して電源を切り、DECK 2に再生するカセットを入れる。

### 3 DECK 1



DECK 2



### 録音を始める。

CDやラジオを録音するとき

DECK 1の●ボタンを押す。

▶ボタンが同時に押され、録音が始まります。

テープを録音するとき

DECK 1の■/▲ボタンを押してから●ボタンを押す。

▶ボタンが同時に押され、電源が入って録音待機状態になります。

(高速ダビングのときは、ダビングスPEEDボタンを押して、倍速ダビングランプを点灯させる。)

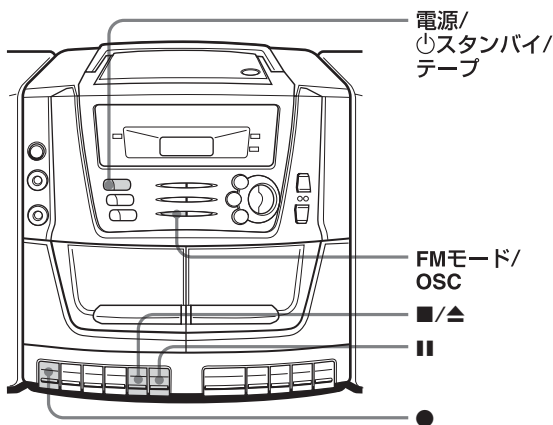
続けてDECK 2の▶ボタンを押す。

DECK 1の■/▲ボタンが解除され、録音が始まります。

#### ちょっと一言

- 録音中、音量や音質(21ページ参照)を変えても録音される音は変わりません。
- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
- AM放送を録音するとき、手順3の●ボタンを押したあととビーという雑音が出ていたら、FMモード/OSCボタンを押して雑音が消える状態を選んでください。
- 録音した音を消去するには  
1 電源/⏻スタンバイ/テープボタンを押して電源を切る。  
2 DECK 1に音を消したいカセットを入れる。  
3 DECK 1の●ボタンを押す。

### その他の操作



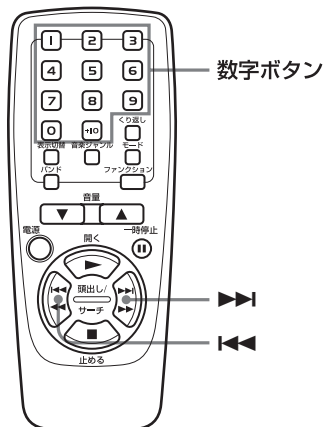
こんなときは	押すボタン
録音を止める	DECK 1の■/▲
録音を一時停止する	DECK 1の■ もう一度押すと録音が始まる。
電源を入/切する	電源/⏻スタンバイ/テープ

ここだけ読んでも使えます

# 聞きたい曲を選ぶ

(ダイレクト選曲/サーチ)

数字ボタンですぐに聞きたい曲の演奏が始まります。◀◀、▶▶ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。



## 選びかた/探しかた 操作のしかた

曲番で直接選ぶ (ダイレクト選曲) 聞きたい曲番の数字ボタンを押す。

聞きながら探す (サーチ) 演奏中に▶▶または◀◀ボタンを押したままにする。

表示窓の演奏時間を 一時停止中に▶▶または◀◀ボタンを押したままにする。

### ご注意

プログラム再生中はダイレクト選曲はできません。

### ちょっと一言

10曲目以降の曲を選ぶときは、+10ボタンを押したあと、4秒以内に次の数字ボタンを押します。

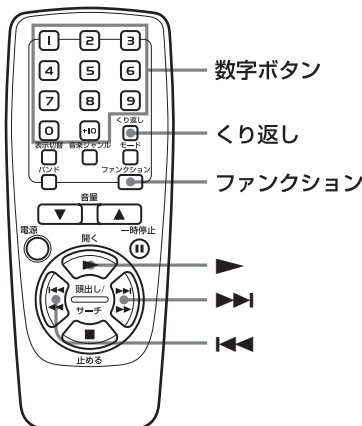
例：10曲目を選ぶときは、+10 0の順に押します。

23曲目を選ぶときは、+10 +10 3の順に押します。

# 繰り返し聞く

(リピート演奏)

CDの全曲または1曲を繰り返して聞くことができます。プログラム演奏を繰り返すこともできます。



1 ファンクションボタンを繰り返し押して(本体ではCDボタンを押して)音源をCDに切り換えて、CDを入れる。

2 次の操作をする。

## リピートの 操作のしかた 種類

- 1曲だけ繰り返し返す
- 1 くり返しボタンを押して「C 1」を表示させる。
  - 2 数字ボタンを押して曲を選ぶ。(本体では◀◀または▶▶ボタンで曲を選んで▶▶ボタンを押す。)

- 全曲を繰り返し返す
- 1 くり返しボタンを押して「C」を表示させる。
  - 2 ▶▶ボタンを押す。

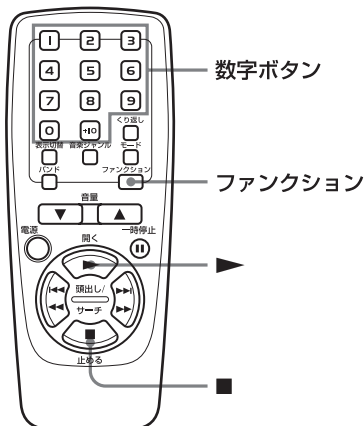
- プログラムした曲順で繰り返し返す
- 1 プログラムする(17ページ参照)。
  - 2 くり返しボタンを押して「C」を表示させる。
  - 3 ▶▶ボタンを押す。



リピート再生をやめるには  
くり返しボタンを押して「C」表示を消しま  
す。

## 聞きたい曲を好きな順 に聞く(プログラム演奏)

聞きたい曲を聞きたい順に30曲までプログラ  
ムすることができます。



CDの再生

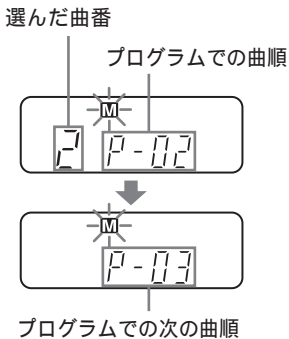
- 1 ファンクションボタンを繰り返し  
押して(本体ではCDボタンを押して)音源をCDに切り換えて、CD  
を入れる。
- 2 停止中に■ボタンを押したままにし、「M」が点滅したら指を離  
す。

次のページへつづく

## 聞きたい曲を好きな順に聞く(つづき)

### 3 聞きたい順に、曲番の数字ボタンを押す。

(本体では、◀◀または▶▶ボタンを押して曲番を選んでから、■ボタンを押します。)



選んだ曲番とプログラムでの曲順を数秒間表示したあと、次のプログラム画面に変わります。

この操作を繰り返します。

### 4 ■ボタンを押したままにし、「M」が点滅から点灯に変わったら指を離す。

### 5 ▶▶ボタン(本体では▶▶ボタン)を押す。 プログラムした順に再生が始まります。

プログラムを取り消すには  
停止中に■ボタンを押して「M」表示を消します。  
CDぶたを開けたときも取り消されます。

曲順を確認するには  
停止中に◀◀または▶▶ボタンを押します。

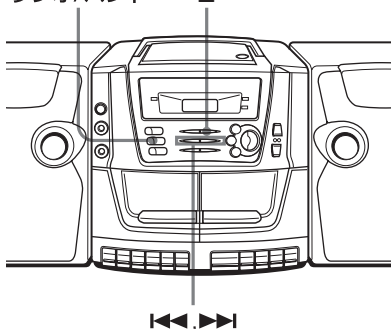
プログラムを変更するには  
CDぶたを開けるか、停止中に■ボタンを押して現在のプログラムの内容を消してから、プログラムし直します。

ちょっと一言  
プログラム演奏を録音するには、プログラムを作ってから、DECK 1に録音用カセットを入れ、●ボタンを押して録音を始めます。

## 放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM、AM各15局ずつ、合計30局まで記憶できます。

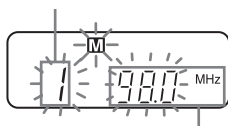
ラジオ/バンド



- 1 ラジオ/バンドボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
- 2 ◀◀または▶▶ボタンを押して記憶させたい放送局を受信する。
- 3 ■ボタンを押して「M」を表示させる。

選んだ放送局が、プリセット番号1から順に記憶されます。

プリセット番号

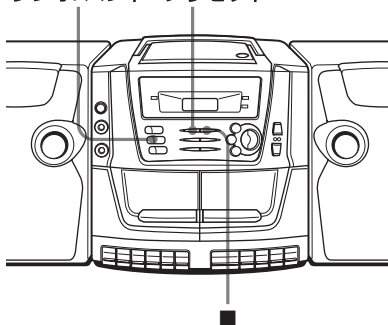


プリセットした局の周波数

## 記憶させた放送局を聞く(プリセット選局)

あらかじめ記憶させておいた放送局を、簡単に選ぶことができます。

ラジオ/バンド プリセット



- 1 ラジオ/バンドボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
- 2 プリセットボタン（リモコンでは▶ボタン）を繰り返し押して、聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

リモコンでは

- 1 バンドボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
  - 2 数字ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。
- 例：プリセット番号10の放送局を聞くときは、+10 0の順に押します。  
プリセット番号15の放送局を聞くときは、+10 5の順に押します。  
+10ボタンを押したときは、4秒以内に次の数字ボタンを押してください。

次のページへつづく

## 記憶させた放送局を聞く(つづき)

記憶させた放送局を取り消すには

- 1 取り消したい放送局のプリセット番号を選ぶ。
- 2 4秒以内(プリセット番号が表示されている間)に、プリセット番号と「M」の表示が消えるまで■ボタンを押したままにする。  
選んだ放送局が取り消され、その番号以降の放送局のプリセット番号が1つずつくり上がります。

### ご注意

停電や電源コードを抜いた状態で12時間以上続くと、記憶させていた放送局の情報は失われます。再び入れ直してください。また同じ理由で、電池の交換も12時間以内に行ってください。

AMのステップ周波数を切り換えるには  
本機は日本国内用に、AMの周波数間隔をあらかじめ9kHzに設定してありますが、10kHzに切り換えることもできます。

- 1 本体のラジオ/バンドボタンを押してFMを選ぶ。
- 2 ラジオ/バンドボタンを押したまま本体の■ボタンを押す。  
「AM 530 kHz」が表示され、10kHz間隔に切り換わります。

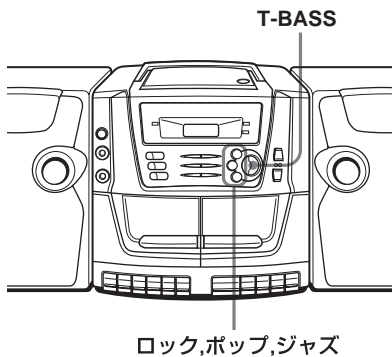
9kHz間隔に戻すには、もう一度上記の操作を行います。

### ご注意

- 通常は初期設定の9kHzのまま使用してください。
- 周波数間隔を切り換えると、記憶させていた放送局の情報は失われます。再び入れ直してください。

## 好みの音質で聞く

音楽や聞き方に合わせた音質の設定を3種類の中から選べます。また、重低音を強調することができます。



### 音楽の種類にあった音質を選ぶ

好みの音楽ジャンルボタンを押す

リモコンでは、希望の音質が表示されるまで、音楽ジャンルボタン(ロック、ポップ、ジャズ)を繰り返し押します。

R(ロック) P(ポップ) J(ジャズ) 取り消しの順で変わります。

R(ロック) 低音と高音を強調した音  
ロックなどを迫力ある音で再現します。

P(ポップ) おもに中音域を強調した音  
ボーカルを際立たせます。

J(ジャズ) 低音域を強調した音  
ベースなどの音に厚みを加えます。

音楽ジャンルの設定を取り消すには  
今選ばれている音質のボタンを1回押すか、  
選ばれていない音質のボタンを2回押します。  
(リモコンでは、「R」、「P」、「J」の表示  
が消えるまで、音楽ジャンルボタンを繰り返し  
押します。)

### 迫力ある重低音を楽しむ

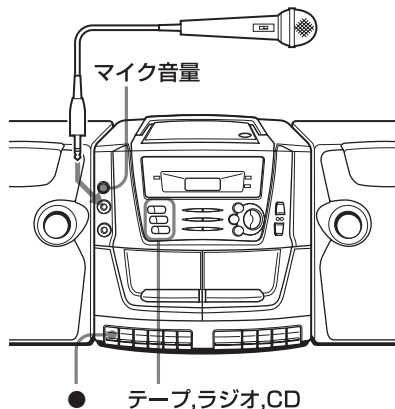
T-BASSボタンを押す。

T-BASSランプが点灯します。

通常の音質に戻すには、もう一度T-BASSボタンを押してT-BASSランプを消します。

# マイクを使う

本機にステレオミニプラグ付きのマイク(別売り)をつないで、CDなどの演奏に合わせて歌ったり、演奏と歌声を一緒に録音することができます。



## ご注意

- 倍速ダビング中は、マイクの声を録音することはできません。
- エコー内蔵のマイクはピーツという音(ハウリング)を起こしやすいので、マイク音量を小さくしてお使いください。
- マイクを使っているときにハウリングが出たら、音量を下げるか、マイクの頭をスピーカーと違う方向に向けてください。

**1** マイクジャックにマイク(別売り)をつなぐ。  
マイクにスイッチがあればスイッチをオンにします。

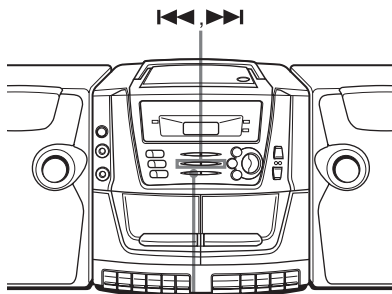
**2** ファンクションボタン(テープ、ラジオ、CD)を押して、合わせて歌う音源を準備し、演奏を始める。

**3** マイク音量を調節する。

マイクの歌声と音楽を合わせて録音する  
DECK 1に録音用カセットを入れて●ボタンを押します。

# 音楽を聞きながら眠る

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。90分から10分までの間で、10分単位で選ぶことができます。音楽を聞きながら安心してお休みなれます。

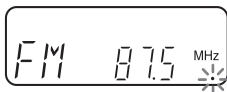


くり返し/スリープ

- 1 聞きたい音楽の演奏を始める。
- 2 「30」が点滅するまで、くり返し/スリープボタンを押したままにする。



- 3 4秒以内に◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押して、時間(分)を選ぶ。  
90分から10分までの間で、10分単位で選ぶことができます。  
スリープ機能が働いているときは、「・」表示が点滅します。



残り時間を確認するには  
くり返し/スリープボタンを押したままにして、残り時間を表示させます。残り時間は約4秒間表示されます。

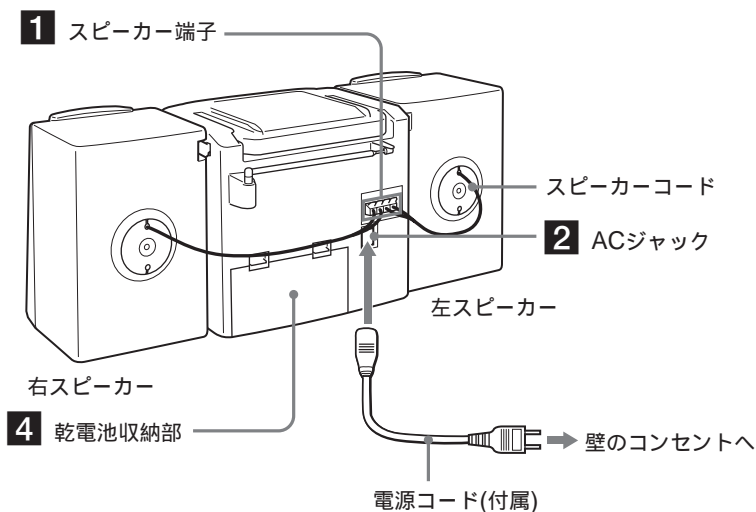
スリープ機能を途中で止めるには  
残り時間が表示されている間に、◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押して「OFF」を表示させます。

ご注意  
テープを聞きながら電源が切れると、カセットデッキの▶ボタンは戻りません。■/▲ボタンを押して元に戻してください。

# 電源を準備する

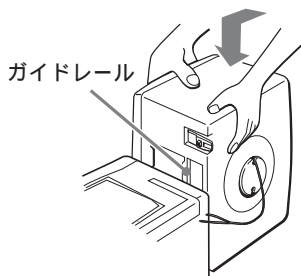
家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。

録音するときは、電力消費量が大きいので、家庭用電源でお使いください。



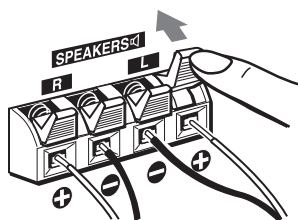
## 1 スピーカーを本体につなぐ

- 1 スピーカーのガイドレールを本体に合わせてから、矢印の方向にスピーカーをスライドさせます。

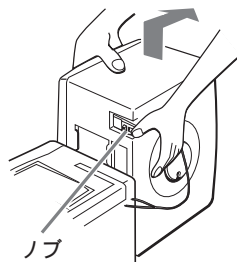


- 2 左(L)スピーカーコードをLの端子に、右(R)のスピーカーコードをRの端子につなぎます。

赤いコードを⊕端子に、黒いコードを⊖端子につなぎます。つなぐときは、端子のレバーを矢印の方向に押し、コードの先を端子に差し込みます。



スピーカーを本体から取り外すにはスピーカーのノブを押さえながら、矢印の方向にスピーカーをスライドさせます。



ご注意

付属以外のスピーカーをつながないでください。

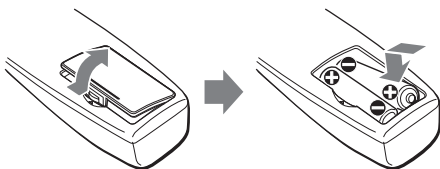


## 2 電源コードを接続する

本機のACジャックへ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

## 3 リモコンに乾電池を入れる

リモコン裏面



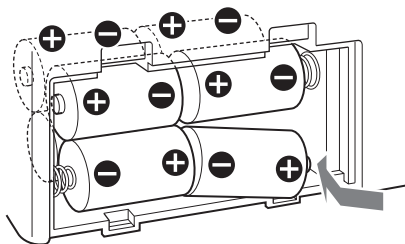
単3形乾電池2個（付属）

### 乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

## 4 乾電池で使う

乾電池でお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。



単1形乾電池8個（別売り）

### 乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源/電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

### ご注意

- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて、傷つくおそれがあります。
- 乾電池でお使いの場合、リモコンの電源ボタンやバンドボタンで電源を入れることはできません。
- カセットデッキのボタンが押されているときは、リモコンの電源ボタンを押しても電源を切ることができません。
- 停電や電源コードを抜いた状態が12時間以上続くと、記憶させていた放送局の情報は失われます。再び入れ直してください。また同じ理由で、電池の交換も12時間以内に行ってください。

## 使用上のご注意

### 取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気変化して不具合がおきることがあります。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

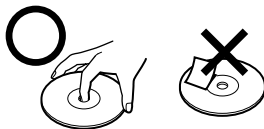
### CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- CD-R/CD-RWについて  
本機は、CD-DAフォーマット\*で記録されたCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- \* CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。
- 著作権保護技術付き音楽ディスクについて  
本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

### CDの取り扱い

- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。

### CDのお手入れのしかた

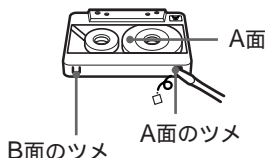
- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

### 大切な録音を守るー誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



### 長時間テープをお使いのときは

90分を超えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こざみちな走行、停止、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

# 故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは39ページに記載されているアイワお客様ご相談センターへお問い合わせください。

## 共通

症状	チェック項目
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードをACジャックとコンセントにしっかり差し込む。</li><li>乾電池が正しく入っているか確認する。</li><li>乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。</li><li>乾電池でお使いの場合、リモコンで電源を入れることはできません。</li></ul>
電源/電池ランプが暗くなる。	<ul style="list-style-type: none"><li>乾電池をすべて新しいものと交換する。</li></ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。</li><li>音量を調節する。</li><li>スピーカーコードが正しく接続されているか確認する。</li><li>スピーカーで聞くときは、ヘッドホンヘッドホンジャックから抜く。</li></ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 → 携帯電話などを本機から離して使用する。</li></ul>

その他

## C D部

症状	チェック項目
演奏が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"><li>CDぶたが閉まっていることを確認する。</li><li>乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。</li><li>CDが裏返し。 → 文字のある面を上にする。</li><li>CDの汚れがひどい。 → クリーニングする。(26ページ)</li><li>レンズに露(水滴)がついている。 → CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。</li><li>CD-R/CD-RWに何も記録されていない。</li><li>ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。</li><li>CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。</li></ul>

[次のページへつづく](#)

## 故障かな?と思ったら(つづき)

### CD部

症状	チェック項目
音がとぶ。 雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。</li><li>• CDの汚れがひどい。 → クリーニングする。(26ページ)</li><li>• CDに傷がある。 → CDを取り換える。</li><li>• 振動のない場所に置く。</li><li>• CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。</li><li>• 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。(26ページ)</li></ul>
CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。</li></ul>

### ラジオ部

症状	チェック項目
FM受信時、ステレオにならない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• FMモード/OSCボタンを押して、「MONO」表示を消す。</li><li>• ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。</li></ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>• FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。FMモード/OSCボタンを押して「MONO」を表示させてください。音はモノラルになります。</li><li>• テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。</li><li>• AM放送受信時にリモコンで操作すると雑音が入ることがあります。</li><li>• このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞かれます。その場合にはお近くのソニーサービス窓口またはアイワお客様ご相談センターにご相談ください。</li><li>• 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。</li></ul>

## テープ部

症状	チェック項目
操作ボタンを押してもテープが動かない。	・ カセットぶたをきちんと閉める。
前の録音が完全に消えない。	・ 消去ヘッドをクリーニングする。( 30ページ) ・ 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 ・ TYPE II( ハイポジション )、TYPE IV( メタル )テープを使っている。 → 録音できるテープはTYPE I( ノーマル )のみです。
録音ができない。	・ カセットを正しく入れる。 ・ デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。
雑音が多い。 音質が良くない。	・ 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 ・ ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。 ( 30ページ) ・ 市販のヘッド消磁器を使ってヘッドを消磁する。( 30ページ )
音が歪む。	・ TYPE II( ハイポジション )またはTYPE IV( メタル )テープはお使いになれません。TYPE I( ノーマル )テープをお使いください。

## リモコン

症状	チェック項目
リモコンで操作ができない。	・ リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。 ( 25ページ) ・ リモコンを本体へ向けて操作する。 ・ 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 ・ 本体リモコン受光部に強い光( 直射日光や高周波点灯の蛍光灯など )が当たっていたら、当たらないようにする。

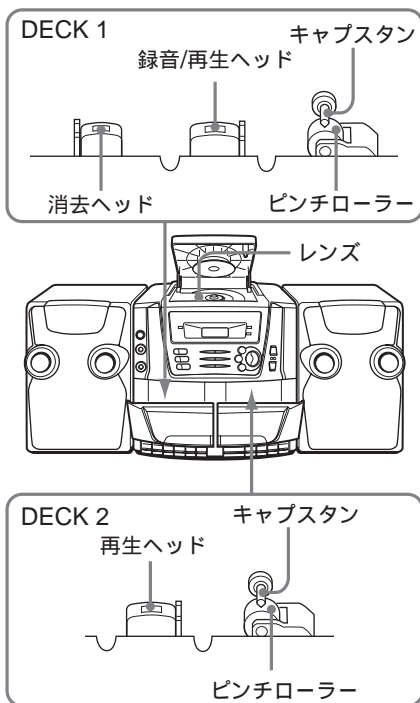
その他

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記以外で動作が正常でないときは、電源/⏻ スタンバイボタンを押して電源を切った後、本体の電源/⏻ スタンバイボタンを押しながら■ボタンを押してリセットします。この操作でリセットされない場合は、電源コードを抜き、電池をすべて取り出してしばらくそのままにした後、電源を入れ直してください。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご連絡ください。

# お手入れ

## ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。



## 録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、市販のヘッド消磁器を使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

## キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

## 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

## 部品の保有期間について

当社ではCDステレオラジオカセットレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

# 主な仕様

## CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下
周波数特性	40 - 20,000 Hz + 2/-6 dB

## ラジオ部

受信周波数	FM/TV(1 - 3 CH) : 76 - 108 MHz AM : 531 - 1,629 kHz (9 kHzステップ) 530 - 1,710 kHz (10 kHzステップ)
アンテナ	FM/TV : ロッドアンテナ AM : フェラ이트バーアンテナ内蔵

## カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネル
早巻き時間	約2分(ソニカセットテープC-60使用)
周波数範囲	TYPE I (ノーマル)カセット : 50 - 12,000 Hz (JEITA*)

## 共通部

スピーカー	フルレンジ : 12cm、 3.0Ω、コーン型(2)
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニジャック)1個、負荷インピーダンス16 - 68 Ω
入力端子	マイク(ミニジャック)1個
実用最大出力	4.5 W + 4.5 W (JEITA/ 3.0Ω)
電源	本体用 : 家庭用電源(AC 100V、50/ 60Hz)、単1形乾電池8個使用(DC 12V) リモコン用 : 単3形乾電池2個使用(DC 3V)
消費電力	19W

## 電池持続時間

測定条件	使用乾電池	ソニースーパー	ソニールカリ
	R20P	LR20	
テープ再生時** (JEITA)	約5時間	約18時間	
FM録音時 (JEITA)	約8時間	約24時間	
CD再生時** (JEITA)	約2.5時間	約8時間	

\* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

\*\* 音量6分目程度

最大外形寸法	本体 : 約274 × 245 × 219 mm (幅 × 高さ × 奥行き) (最大突起部含む) (JEITA) スピーカー : 約160 × 236 × 170 mm (幅 × 高さ × 奥行き) (JEITA)
質量	本体 : 約3.1 kg 本体ご使用時 : 約4.2 kg (乾電池、CD、テープ含む)
付属品	スピーカー : 約0.9 kg × 2 リモコン(1) リモコン用単3形乾電池(2) 電源コード(1) 取扱説明書・保証書(1) アイワご相談窓口のご案内 (1)

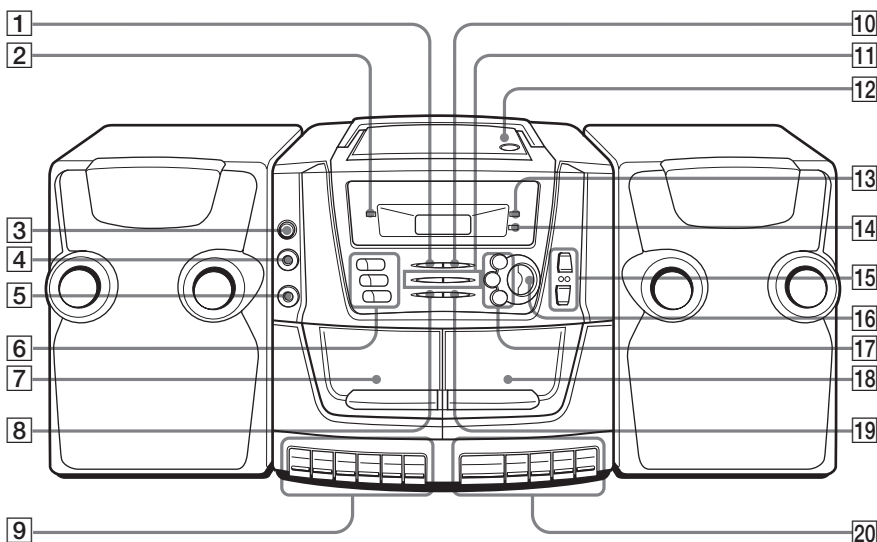
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



# 各部のなまえ

くわしい説明は( )内のページをご覧ください。

## 本体



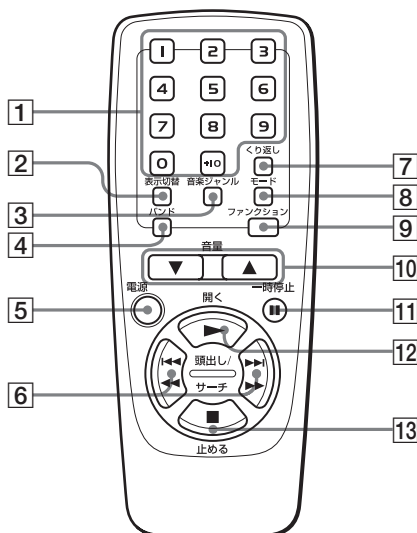
- 1 ▶▶聞く/一時停止/プリセットボタン  
(9、19)
- 2 電源/電池ランプ(25)
- 3 マイク音量つまみ(22)
- 4 マイクジャック(22)
- 5 ヘッドホンジャック
- 6 ファンクションボタン  
電源/リスタンバイ/テープ(9、11、12、  
13)  
ラジオ/バンド(10)  
CD(8)
- 7 DECK 1のカセットぶた
- 8 くり返し/スリープボタン(16、23)  
FMモード/OSCボタン(11、15)
- 9 DECK 1の操作ボタン  
●(録音)(15、18、22)  
▶▶(再生)(12)  
◀◀(巻戻し)(13)  
▶▶(早送り)(13)  
■/▲(停止/取り出し)(12～15)  
|| (一時停止)(13、15)
- 10 止める/メモリーボタン(9、17～20)

- 11 ◀◀、▶▶(選局 上げる、下げる)ボタン  
(9、10、16～19)
- 12 CDぶた
- 13 倍速ダビングランプ(15)
- 14 T-BASSランプ(21)
- 15 音量▲、▼ボタン(9、11、13)
- 16 T-BASSボタン(21)
- 17 音楽ジャンルボタン(21)  
ロック  
ポップ  
ジャズ
- 18 DECK 2のカセットぶた
- 19 ダビングスピード(倍速/標準)ボタン(15)
- 20 DECK 2の操作ボタン  
▶▶(再生)(12、15)  
◀◀(巻戻し)(13)  
▶▶(早送り)(13)  
■/▲(停止/取り出し)(12～14)  
|| (一時停止)(13)

そ  
の  
他

次のページへつづく

## リモコン



- |                              |                             |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1 数字ボタン(16、17、19)            | 8 モードボタン(11)                |
| 2 表示切替ボタン(9、11)              | 9 ファンクションボタン(8、12、16、17、22) |
| 3 音楽ジャンルボタン(21)              | 10 音量ハ、Vボタン(9、11、13)        |
| 4 バンドボタン(10、14、19)           | 11 一時停止ボタン(9)               |
| 5 電源ボタン(8、9、11～13)           | 12 再生/一時停止ボタン(9、16～19)      |
| 6 再生/一時停止/サーチボタン(9、10、16～19) | 13 止めるボタン(9、17～19)          |
| 7 くり返しボタン(16)                |                             |

# 索引

## 五十音順

### ア行

お手入れ 30  
音楽ジャンル 21

### カ行

乾電池  
    本体用 25  
    リモコン用 25  
繰り返し聞く 16  
高速ダビング 15

### サ行

サーチ 16  
再生する  
    CD 8  
    テープ 12  
重低音 21  
受信状態をよくする 11  
スリープ 23  
接続  
    スピーカー 24  
    電源コード 24

## タ、ナ行

調節する  
    音質 21  
    音量 9、11、13、22  
テープ 12  
電源  
    家庭用コンセント 24  
    乾電池 25

## ハ行

プリセット選局 19  
プログラム演奏 17  
ヘッドの消磁 30  
放送局を記憶させる 19

## マ、ヤ行

マイクを使う 22

## ラ、ワ行

ラジオ 10、19  
リセット 29  
リピート演奏 16  
録音  
    CD 14  
    誤消去防止 26  
    ダビング(テープからテープ  
        へ) 14  
    ラジオ 14

## アルファベット順

T-BASS 21

そ  
の  
他








## アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

### アイワホームページ ●<http://www.jp.aiwa.com/>

アイワホームページは、アイワの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。  
「サポート情報」や「よくあるご質問（FAQ）」に関しては、ホームページをご活用ください。

### アイワお客様ご相談センター

- ナビダイヤル..... 0570-00-4680  
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。)
- 携帯電話・PHSでのご利用は..... 0466-31-4833  
(ナビダイヤルがご利用にならない場合はこちらをご利用ください。)
- FAX..... 0466-31-4250

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 \*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

保証書

CDキャリーコンポーネントシステム

XG-K56

T01-A2-1

▲「お問い合わせ窓口  
のご案内」については、  
裏(39ページ)をご覧ください。

ソニー株式会社  
〒141-0001  
東京都品川区北品川6-7-35

Printed in China